

# 第36回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

# 琉大21世紀フォーラム



日時

平成21年10月23日(金)  
17:15～18:30

場所

琉球大学法文学部201教室

## 話題：「ベルリンの壁崩壊20周年」

発表者：A. オルブリッヒ（ドイツ連邦共和国総領事）

第二次世界大戦後、戦勝 4ヶ国によって分割占領された敗戦国ドイツでは、米英仏ソ連との間で対立が先鋭化し、1949年には東西にそれぞれ別の国家が建国される。ソ連が支配した東ドイツ地域に位置するベルリンについては、その後も引き続いて 4ヶ国の共同統治となる。東ドイツ、東ベルリンでは社会主義体制が強化される中で、労働者が搾取され、自由が奪われ、人権が抑圧されたため、住民が英米仏の支配地区である西ベルリンに大量に流出。恐れをなした東独政府は 1961 年 8 月に西ベルリンの周りに壁を構築する。80 年代に入って社会主義計画経済によって国家の疲弊が顕著なソ連に、改革(ペレストロイカ)を標榜するゴルバチョフが登場。東独政府は後ろ盾を失う一方、東独で市民の政府に対する不満が一気に高まり、1989 年夏以降、デモが平和裏に大規模に行なわれる。ハンガリーではオーストリアとの国境検査が撤廃され、東独市民が祖国を捨てて西側に移動。プラハの西ドイツ大使館にも東独の人たちが押し寄せ西への移動を求める。そして 11 月 9 日に遂に東西の移動が自由になる。翌年のドイツ再統一、更にはソ連の解体、その後の急速な欧州統合につながる 20 年前のベルリンの壁崩壊を検証する。



Dr. Alexander OLBRICH  
ドイツ連邦共和国総領事

### 発表者 プロフィール

- 1950 ノイブルク（ドイツ、ドナウ河畔）生まれ
- 1975 ミュンヘン大学にて化学の学位取得
- 1975 ミュンヘン大学にて博士号取得
- 1979 京都大学ポスドクフェロー
- 1981 ドイツ外務省入省
- 1983 在日大使館広報渉外担当二等書記官
- 1987 本省、学術交流担当一等書記官
- 1990 在ギリシャ大使館経済担当参事官
- 1992 在アイスランド大使館公使
- 1997 本省、核エネルギー民間利用、核不拡散担当課長
- 2001 OPCW(化学兵器禁止機関) 常任委員・大使、オランダ公使
- 2005 本省、軍縮・軍備管理局生物兵器部国内当局局長
- 2009 大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館総領事

主催：琉球大学生涯学習教育研究センター

問合先：琉球大学学術国際部地域連携推進課

TEL：098-895-8019

(事前に参加登録する必要はありません)



## ●今後のフォーラム（予定）●

第37回 講師：山崎 秀雄（琉球大学理学部教授）  
 話題：「勃起不全症とノーベル賞とサンゴ礁～東洋思想のすすめ～」  
 日時：2009年10月30日（金） 17：15～18：15

第38回 講師：堀場 雅夫（堀場製作所最高顧問）  
 話題：「未定」  
 日時：2009年11月11日（水） 10：00～12：00

第39回 講師：岩下 明裕（北海道大学スラブ研究センター所長、教授）  
 話題：「未定」  
 日時：2010年1月22日（金） 17：15～18：15（予定）

※なお、学外来訪者をお願いして臨時フォーラムを開催することがあります。

## 建物配置図



## 法文学部棟2階

